

# 彦名通信

COMMUNICATION MAGAZINE NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY, YONAGO COLLEGE

2018

6

vol.193



入学式での入学生宣誓



メカ女ミーティング



大山オリエンテーション



留学生歓迎会

## Index

### 新年度特集

校長挨拶、入学式	2
教務主事、学生主事から	
学生相談室より	3

### クラス便り

1年機械工学科	4
1年電気情報工学科	5
1年電子制御工学科	6
1年物質工学科	7
1年建築学科	8

専攻科1年、留学生	9
新任教員の紹介、授業参観の報告	
地域共同テクノセンターより	10
KOSEN4.0への取り組み	11
キャリア支援室	
文化セミナー、知的セミナーの案内	12
学生会の紹介、入賞報告	13~15
卒業生は今 (vol.14)	16

## これからの時代を生きていくために

校長 氷室 昭三



皆さんは、三葉虫をご存知でしょうか。三葉虫は、5億4200万年前から5億3000万年前のカンブリア爆発後、地球上で最初に眼をもった動物ともいわれていますが、眼を持ったことで積極的に他者を捕食することができるので、眼をもっていない生物に対して絶対的に有利となりました。そのためだと思いますが、約3億年ものあいだ地球に生息していた節足動物です。

最近、画像認識の精度が大幅に向上し「人工知能（AI）における眼の誕生」ともいわれています。このことにより、AIの分野においても「カンブリア爆発」が起き、加速度的なAIの進化がもたらされるといわれています。椋野村総合研究所は、オックスフォード大学のマイケル A. オズボーン

准教授およびカール・ベネディクト・フレイ博士との共同研究により、国内601種類の職業について、それぞれ人工知能やロボット等で代替される確率を試算しています。この報告書には、10～20年後に、日本の労働人口の約49%が就いている職業において、それらに代替することが可能との推計結果が書かれています。

このAIは、問題を解決する技術です。AIの進化が進めば進むほど、与えられた目的に対して、それを実現する手段は賢くできるようになります。そうすると、重要になるのが人間の役割です。「何が社会で大事なのか」「個人の幸せや社会全体の幸せはどのように考えればいいのか」「異なる価値観のものをどうバランスさせればいいのか」など、我々の果たす役割を考えねばなりません。

人間は、自分とは違った知識や価値、生き方に出会うことによって衝撃や感動を受け、成長していきます。異なったものに刺激を受けてそれを受け入れることもあれば、反発することもあります。反発するときでさえ自分が何者なのかを改めて確認することになり、そこから成長の芽が育ちます。

こうした多様な経験の第一歩は、読書です。本の中には、過去から現在に至る先人の多様な知恵やものの見方が詰まっています。その意味で、皆さんの学生生活の間には、たくさんの本を幅広く読んでもらいたいと思います。そして、それとともに学生生活で大切なのは、さまざまな社会的経験の中で自分とは異質なものにさらされる機会、場合によっては、とまどい、迷い、悩む機会を、できるだけ数多く持つということです。

そうして得られた知識や経験を通じて、困難な課題に直面したときも、「どう取組めばいいのか」という知恵や工夫をめぐらす柔軟性、そして、「何とかできるのではないか」という自信や前向きな姿勢が育つと思います。

## 入学式の様子

今年度の入学式が4月6日（金）に本校第一体育館にて挙行されました。

今年度は、本科203名、2名の留学生を含む編入学生6名、専攻科生26名の合計235名の新入生が入学しました。入学式では、氷室校長の式辞をはじめ、米子市長、後援会長、同窓会長からご祝辞を頂き、新入生の高専生活が幕を開けました。



## 教務主事、学生主事から

### 教務主事 川邊 博



司馬遼太郎の太閤記の一場面。織田(上総介)信長に重用されだした秀吉が、当時は敵対しているが、後に軍師としてその幕下に迎え入れることになる竹中半兵衛を調略のために訪ねたときの会話が面白い。

「私は上総介殿をきらっている。足下は上総介殿が士を愛するといわれるが、あの態度は愛するというより士を使っているだけのことだ」

「これはしたり、貴殿ほどのお人のお言葉とも思えませぬ。愛するとは使われることではござらぬか」(なるほど)

半兵衛はあざやかな衝撃を受けた。なるほどそうであろう。…(中略)… 理解されて酷使されるところに士のよるこびがあるように思われる。

人間関係で、相手の言葉や行動の、本音や本心が気になるときに肝心なことは、それを自分がどのように受け取ってしまうかにかかっています。教室の掃除を手伝わされたとき、授業で当てられたとき、何か頼まれたとき、それは偶然なのかも知れません。しかし、自分は愛想が良くて声を掛けやすい、信頼に足る人間で、能力的にも将来性を見込まれていると、勘違いでも思い込んでしまう方がよいのです。これを続けると人を引き付け、20年後、事業をしていれば同業者より儲けているだろうし、会社勤めならば組織から大事にされているに違いありません。

高専生活5年間で日々身につけるよう意識すべきは、この魅力だと思います。受験競争のような明確な目的はないが、だからこそ惑わされずに損得抜きに誠実さで向上できる。その姿勢で打ち込む勉強が輝きを放つ教養となるのです。

### 学生主事 稲田 祐二



先日の始業式で、皆さんが気持ちよく過ごせる学校になるためには、各自がルールを守るのは勿論のことですが、マナーやエチケットについても考えて欲しい、そして是非気配りをして欲しい旨のお話をしました。今一度確認していただきたいと思います。

さて、高専は5年間あるいは7年間の技術者教育を実践する学校です。それぞれの専門の教科をしっかりと学習することが重要ですが、人間力を伸ばすことも大切です。このために課外活動をぜひ活用していただきたいと思います。本校では、多くの部活動や、ロボコン、プロコン、デザコンなどのコンテストに参加する活動が盛んです。そして、これまでに多くの輝かしい実績も残しています。学生諸君には漏れなくどれかに参加して、大いに活躍していただきたいと思います。

次に、心の健康に関することです。皆さんの多くは高専生活を謳歌していると思いますが、何かのきっかけで気がふさぎ込むこともあります。自分自身で解決できればよいのですが、困った時には我慢しないで先生方に相談してください。学校は皆さんの相談に乗ります。安心してください。

3つ目に学生のトラブルに関することです。最近、米子高専ではSNSに絡んだトラブルが少なからず発生しています。これについては社会問題にもなっており、学校として専門家の講話を聞く機会を設けるなどして注意喚起しているところです。今一度、その使用ルールを確認し、友人を傷つけたり、偽りの情報を信用して事故に巻き込まれないように注意してください。

以上、苦言も呈しましたが今年度も皆さんと協力してより良い米子高専にしていきたいと思います。

## 学生相談室のご案内

### 学生相談室長 森田 典幸

学生相談室は、悩みを抱えた学生へのサポートを行っています。教員の中から任命されたスタッフに加え、校外の専門家によるカウンセリングの機会も提供しています。今年度のスタッフと担当の曜日は以下の通りです。

学生相談室員	渡邊 健 (教養教育科) ・高増 佳子 (建築学科) ・原田 桃子 (教養教育科)
看護師	上本菜々実 (保健室)
インテーカー	佐伯 有希 (学生相談室)
校外カウンセラー	吉岡 伸一 (精神科医・月1回月曜日) ・角南なおみ (臨床心理士・月3回金曜日) 池谷 千恵 (臨床心理士・月3回火曜日) ・竹崎 摩由 (臨床心理士・月3回不定期)

学生にはパンフレットを配布し、悩みがある場合は抱え込まずに来室を呼びかけていますが、家庭での様子がおかしいので尋ねてみても話したがない場合などは、下記連絡先にて手紙と電話で受け付けておりますのでご相談下さい。

【宛先】〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 米子工業高等専門学校 学生相談室

\* 返信先のご住所とお名前をご記入ください。

【電話番号】0859-24-5262 \* 月～金曜日の9:00～17:00

### 保健室より

## 日本スポーツ振興センターの医療費について

学校の管理下(授業中、課外活動中、登下校中など)で怪我をして受診した場合、治療に要した全額の医療費負担金が1,500円以上であれば、日本スポーツ振興センターより医療費の給付を受けることができます。給付を受ける場合は、小児特別医療費助成制度は使用されないようお願いいたします。受傷後は、速やかに保健室で手続きをしてください。受診した月から2年間請求を行わなかった場合は、時効となります。

連絡先 米子工業高等専門学校保健室 TEL: 0859-24-5027 FAX: 0859-24-5029

# 1年機械工学科

## クラスデータ

学生数 42名(男37・女5)  
うち寮生 13名



ロイヤルホテル大山でクラス写真

## 大山オリエンテーションに参加して 井上 双葉

私はこの大山オリエンテーションに参加して、機械工学科の人達の人柄や、顔、名前を少しずつ覚えることができました。

私がこの大山オリエンテーションに参加して最も良かったと思ったのは、5年生を囲む会での大部さんのお話です。今まではずっと先生方の立場からのアドバイスや説明でしたが、大部さんのは、実際に高専生活を送ってこられた先輩からのアドバイスだったので、とても的確、具体的で参考になりました。そして、これからしっかり勉強しようという気持ちになりました。

先輩からの、「もっともっと知りたいと思ったり、自分に必要だと思えたとき、初めて勉強は楽しくなるんだよ!」という言葉聞いて、私も自分の興味のあることを早く見つけたいと思いました。

## クラスの雰囲気が変わりました 林原 幸汰

今回の大山オリエンテーションでは、今まで話したことのない人とも話し、仲良くなることができました。「5年生を囲む会」での大部先輩の話はとても分かりやすく、これからの生活に役に立つことが多くて良かったです。特に勉強の方法は、自分なりのやり方でしっかりとしたいと思いました。また、大部先輩は、1、2年生での勉強が、上の学年になってからどこで役に立つのか、具体的に教えてくださいだったので、これから勉強に対するモチベーションを高く保っていけると思いました。

入学してしばらくは、クラス内で会話も少なく、気まずい空間でしたが、今回のオリエンテーションを通じてクラスの雰囲気もよくなったので嬉しかったです。これから授業も本格的に始まるので頑張りたいです。

## 担任インタビュー



教養教育科  
渡邊 健

このクラスの特徴を教えてください。

明るく活発なクラスです。授業や清掃などにはまじめに取り組む一方、行事ではみんなで楽しく盛り上がりたりして、とてもいい雰囲気だなあと感じます。

どんなクラスになってもらいたいですか？

学生たちがお互いに尊重し、助け合って、勉学の面でも人間関係の面でも、一緒に成長していけるようなクラスです。

クラスの学生にメッセージを。

高専での様々な出会いを大切に、心を開いて受け入れてください。そして、常に自分が今、これから、何をなすべきかを考え、成長してほしいと思います。



まだ雪残る大山をバックに



パパ抜き大会 王様決定戦

# 1年電気情報工学科

## クラスデータ

学生数 43名(男32・女11)  
うち寮生 17名



## 大山オリエンテーション

松本 爽良

2日間にわたるオリエンテーションで良いスタートを切ることができたと思います。

まず、クラスでのレクリエーションを通して、みんなの距離がぐっと縮まったように感じます。会話や意見の出し合いなどが活発になり、みんなの意見を聞き合うことができました。

「5年生を囲む会」では、真剣に話を聞き、質問もたくさん出て、1人1人が勉強やこれからの高専生活について考える良い機会となったと思います。

また、大山ロイヤルホテルでの共同生活の中で5分前行動や片付け、マナーなどにも気を配れるようになったと思います。普段の生活でもこの大山オリエンテーションで学んだことを発揮して、積極的に活動出来るクラスにしていきたいと思っています。

## 高専に入学してよかった!

森 隼人

高専に入学して良かったと思うことが2つあります。

1つ目は、先生がとても身近に感じられるということです。授業などで分からないことがあれば気軽に聞くことができるので安心です。相談もしやすく、安心して学校生活を送ることができています。

2つ目は、寮生活です。入学前はきちんと生活ができるかどうか不安でした。家とは違い、自由時間がなくなり当番なども忙しく、家に帰りたと思うことも多々ありました。今ではそれを乗り越えることができ、先輩への敬意や社会のマナーについても学ぶことができています。これからも、自立・協調・奉仕の精神を大事に生活していきます。

入学して2ヶ月が経ち、高専での生活に慣れることができました。これからの5年間、自分の夢に向けてしっかりと準備していきます。

## 担任インタビュー



電気情報工学科  
田中 博美

### このクラスの特徴を教えてください。

大山オリエンテーションの時から既に仲が良く、とても和やかな雰囲気のあるクラスです。一方で「盛り上がる時は盛り上がる。ヤル時はヤル。」と、メリハリのあるクラスでもあります。

### どんなクラスになってもらいたいですか?

“One for all. All for one.(ひとはみんなのために。みんなはひとりのために。)”をスローガンに、とにかく仲が良く、お互い支え合えるクラスになって欲しいと思っています。また5年間、誰一人欠けることなく全員揃って卒業まで行って欲しいです。

### クラスの学生にメッセージを。

卒業の時に、思いっきり泣けるクラスになって欲しいと願っています。また、みんなが早く将来の夢を見つけ、その夢に向かって支え合いながら歩を進めて欲しいと思います。助け合いの精神を大切に、全員が一致団結してクラスを盛り上げて行きましょう!



クラスレクの様子



大山寺にて

# 1年電子制御工学科

## クラスデータ

学生数 40名(男35・女5)  
うち寮生 8名



## 入学、ガイダンスそして大山オリエンテーション 山田 栞

入学式はとても緊張しました。新入生代表の宣誓は、練習通りにできたので、安心しました。とても貴重な体験が出来たことを、うれしく思います。入学式当日は、教室に戻ってからクラスメイトと話ができなかったのが残念でした。自分から話しかける勇気は私にはありません。他の人もあまり話をせず静かにしていたので、静かなクラスになるのかなと思いましたが、今では、にぎやかだと思います。

新入生オリエンテーションでは、クラスメイトと、今まで以上にたくさん話げできました。今まで話したことがない人とも、コミュニケーションをとれてよかったです。私は写真に少し興味があるので、写真美術館はとても興味をひかれました。ホテルに着いてからは、集団で行動しているという意識を常に持ち、私的な楽しさではなく、公的な楽しさを味わうことが出来ました。

## 米子高専に入学して 若林 遥大

入学してからあっという間に1週間が経過したと思う。1週間ガイダンスが続くととても疲れた。いろいろな人の話を聞きこれから自分がすべきことを考えることができた。

勉強の面では、専門のことを学ぶということが楽しみである。その専門のことを学んでいくためにも教養科目にしっかりと力を入れていきたいと思う。自分は国語が苦手である。これまでは苦手だからと言い訳をしてきた。これからは、やめたい。5年生の話を聞き、「だめだ」とか考えてしまうのは、よくないと分かったからだ。

生活の面では、クラスの仲間と協力してがんばっていききたい。ふざけ合う集団にしたいのではなく、高め合える集団になって欲しいと思った。前期中間でスタートダッシュを決められるようにクラスの仲間とも戦うということを忘れないようにがんばりたい。

担任の酒井先生の話や聞くと、毎回とても納得させられる。自分にはなかった新しい考えが1週間でもたくさんできたと思う。その点とても感謝している。これからもいろいろとたくさん話を聞いて新しい発見をしたいと思う。

## 担任インタビュー



教養教育科  
酒井 康宏

### このクラスの特徴を教えてください。

男子が格段に多いクラスですが、5名の女子は結束していて仲が良いと思います。

とても明るく、反応の良いクラスなので1年間このままで頑張ってもらいたいと思います。

### どんなクラスになってもらいたいですか？

成績も大切ですが、まず一人の人間として、一人一人が他人を思いやれる優しさを持ってください。一人一人の人間力は無限です！しっかりと自分を見つめて元気で頑張ってください。

### クラスの学生にメッセージを。

電子制御の学生なので、敢えて  $1 + 1 = 41$  (40は学生数、プラス1は担任)と言わせてください。そんなクラスにしましょう！この数式合ってます。トンチクイズですがきちんと成り立ちます。一人一人の力は2を超えて行く！



大山オリエンテーション (クラス活動)



大山オリエンテーション (夕食の時間)

# 1年物質工学科

## クラスデータ

学生数 41名(男25・女16)  
うち寮生 16名



大山ロイヤルホテルにて

## 色んなことを知れた大山オリエンテーション 田山 凌汰

高専に入学した次の週に1年生で大山オリエンテーションに行きました。私は遠方から来たため大山がどこにあるのかも知りませんでした。ホテルに着いた後昼食を食べ、各学科に分かれて自己紹介や委員会決めをしました。入学してまだ間もなかったので、初めて見る人や名前もあまり覚えていない人もいたのですが、覚える機会があったのでよかったです。ホテルの部屋が同じ人とはたくさん会話ができて、親睦が深まりいろいろな話ことができました。

5年生を囲む会では、同じ学科の5年生の方が高専についてのメリットやデメリット、テスト前の勉強についてなど詳しく教えてくださりとても勉強になりました。このオリエンテーションを通じて、さらにクラスの雰囲気がよくなったのでとてもためになったと思います。

## 高専での生活で

坪根 百花

この米子高専に入学してから、約1ヶ月がたちました。高専での生活は、大変なこともあります、楽しいこともたくさんありました。

高専は一般の教科に加えて専門の勉強をしています。なので、覚えることもたくさんあったり、授業も中学の時と方針が変わったりと慣れないことばかりです。しかし、クラスの雰囲気がとてもよく過ごしていてとても楽しいです。それと、部活の先輩方もとても優しく、全体も仲が良いので練習がきついても頑張っていけます。

これから私は、英検や数検などを自分からどんどんしていきたいです。そして、将来につなげられるように、自分なりに一つ一つ些細なことでも頑張っていきます。今は基礎をしっかりと固めつつ部活もして、目標を持ち両立できるようにしていきたいです。

## 担任インタビュー



物質工学科  
竹中 敦司

このクラスの特徴を教えてください。

良い意味で賑やかで積極的、悪い意味で騒がしいクラスです。ただし、授業中は聞くべき時は静かに聞いてくれています。始まって2ヶ月の間ですが、教室の掃除や日直はきちんとやっています。

どんなクラスになってもらいたいですか？

クラス全体で学習に対して前向きで、全員が揃って卒業できるようにお互いを尊重し一体感を持てるクラスを作って欲しいです。One for all, All for one (一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために)

クラスの学生にメッセージを。

皆さんは多くの国民の税金を使って教育されていますので、卒業後は特に社会に貢献できる人材になって欲しいと思います。また、人生でかけがえのない友人も作って欲しいですね。入学した時の気持ちを持ち続けて欲しいと思います。



大山寺へも元気に行きました



白衣も少しずつ様になってきました

# 1年建築学科

## クラスデータ

学生数 40名(男19・女21)  
うち寮生 15名



## ガイダンス、オリエンテーションを通じて 河原 朱里

私がオリエンテーションの中で1番印象に残っていることは国際交流の話です。私は英語が1番苦手なので高専の授業についていけるかとても不安でした。しかし、短期留学の話聞き、自分の苦手意識をなくすためにも行ってみたいなと思いました。現地でコミュニケーションをとることで人見知り改善されたり、英語の楽しさを感じられたりすると思いました。

また、このオリエンテーションを通じて、クラスの人と沢山話すことができました。A科はクラスの中に人見知りの子が多くていつも静かでしたが、クラス会で雰囲気が明るくなり、馴染めるようになりました。2日目の「5年生を囲む会」では、先輩の体験談を聞き、これからの生活で気をつけなければならないことを確認することが出来てとてもいい会になったと思います。ガイダンスを通して、これからの高専生活の不安が少しなくなりました。ありがとうございました。

## 高専での生活

原 麗斗

今回のオリエンテーションで先輩のお話などを聞いて楽しい事や、大変な事などを知り、これからの高専生活を楽しみ、頑張っていこうと思いました。

私は高専に入り、自分の選択が正しかったと思えるようになりたいです。これから勉強が始まっていくので、ついていけるように予習、復習にも、しっかり取り組んでいきたいです。部活はバレーボール部に所属しています。中学校から始めたバレーボールは強い人達と競い高めあえるので、とても楽しいです。高専は4、5年生の方々も部活をしておられるので、一緒にプレーできると思うとまた楽しみになります。私は、建築関係が好きなので、学科の大変な課題とかも諦めることなく取り組んでいきたいです。

高専生活で、将来役に立つようなことを学んでいきます。これから楽しんで過ごしていきたいです。

## 担任インタビュー



建築学科  
小椋 弘佳

このクラスの特徴を教えてください。

明るく和やかな雰囲気、積極的に行動する学生が多いです。ホームルームでは、みんなで盛り上がっています。

どんなクラスになってもらいたいですか？

勉強や部活、遊びなどメリハリをつけて頑張ることができ、お互いを尊重できるクラスになってくれたらと思います。

クラスの学生にメッセージを。

なんでも気になることには挑戦して、打ちぬけるものをみつけましょう。みなさんが充実した高専生活を送り、全員そろって卒業できるように願っています。



デザイン基礎 授業風景



大山オリエンテーション ホームルーム

## 専攻科1年



専攻科1年生と松本 至専攻科長

### 建築学専攻 渡部 巴菜

私が専攻科を選んだ理由は2つあり、1つ目は地域に役立つ研究に取り組みたいと思ったことです。本科では1年間卒業研究に取り組みますが、専攻科では2年間研究をすることができます。私は建築計画に関する研究をしますが、その上で出てきた問題を解決するための提案を時間をかけて考えて、地域に貢献できたらいいなと思っています。

2つ目は2級建築士の資格を確実に取るということです。5年間お世話になっている先生たちが近くでサポートしてくださり、クラスメイトとも切磋琢磨しながら試験勉強ができます。この恵まれた環境で資格合格を目指し、精一杯頑張りたいと思います。

### 生産システム工学専攻 渡邊 遼平

新学期が始まり2ヵ月が経過しました。専攻科は本科と同じ環境ということもあり、すぐに学校生活に慣れることができました。また、勉強面では他専攻の学生と一緒に授業を受けることが多く、様々な考え方に刺激を受けています。私は、特別研究で電気摺動接点の特性について研究を行っており、本科5年生2人を含め3人で日々試行錯誤をしています。この研究では私が1番上の学年なので、5年生を引っ張っていけるように努力していきたいと思っています。

## 留学生の紹介

### 3M チャン ジ チン (呼称：チャン) マレーシア出身

私はマレーシアの最南端にある、ジョホール州の州都ジョホール・バル出身です。ジョホールは観光地として、歴史深い建物が多く存在し、アジア初のレゴランドや美味しい食べ物がいっぱいあり、とても良いところです。

私は幼い頃から日本のアニメに興味を持っていたので、日本に留学して教養を深めたいと思いました。もちろん最初は文化の違いに驚き、慣れないことに戸惑い、無理だと感じましたが、自身の成長のためには新たな環境で自分を試さなければなりません。そのために留学という厳しい状況に身に置いて、日本の進んでいる分野、最新の技術や知識を学びたいと思います。そして、早く高専生活に慣れて、日々を充実させていきたいです。



### 3A ヤン ポーチャオ (呼称：ポー) ラオス出身

ポーです。ラオスから来ました。3年建築学科です。もう日本に来て1年間経ちましたが、私の日本語力はまだまだ上手くありません。日本に留学することは中学生の頃からの夢でした。日本は世界の中でとても発展した国であり、高いレベルの教育を行っています。ラオスにいるとき日本に留学している先輩から日本のことや教育、生活など何回も聞きました。だから日本に留学することを決めました。

高専での勉強はだんだん大変になりましたが、自分や家族、周りの人などために頑張りたいと思います。高専を終わったら大学にも大学院にも入りたいです。その希望を成し遂げるために、どんなに大変なことがあっても頑張ります。



## 新任教員の紹介



電気情報工学科 本村 信一

皆さん初めまして。このたび電気情報工学科に4月より着任いたしました本村信一と申します。私は過去に短大から大学に編入学した経験があり、当時米子高専卒生と共に学んだことがあります。そのときに高専の優秀さや技能の高さを痛感しました。そして、今度は私が進学を考える高専生の背中を押してあげたいと強く思っております。また、一度社会人としてのエンジニア経験を経て、大学院に進学した経緯があります。博士号を取得する際に働きながら6年の歳月をかけて道を切り開いてまいりました。夢をあきらめかけている学生や、就活に不安を抱える学生に対し、このような私自身の経験を踏まえ、どのような時でも決してあきらめない、向学心・向上心を持つことの大切さを伝えていきたいと考えております。これからもどうぞよろしくお願いたします。

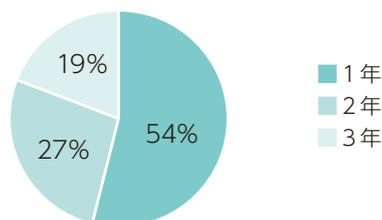
## 授業参観の実施報告

教務主事補 角田 直輝

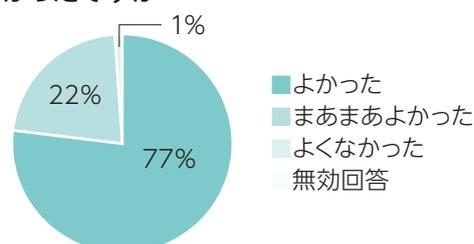
今年度の授業参観は昨年度と同じく大型連休直前の5月2日に実施し、ご参加いただいた学生のご家族の数も287にのぼりました。図に示したように、参観いただいた学年は1年生が5割、2年生が3割、3年生が2割となりました。参観については、ほぼすべての皆様から肯定的な評価をいただきました。

学生が一日の半分を過ごす学校生活の中で、修学の舞台である授業風景をご覧いただき、わが子が真剣に授業に参加する姿にホッとされたのではないかと思います。私も授業参観の授業がありましたが、おおむね普段と変わらない雰囲気でした。学生は入学してからの5年間を日々積み重ね、技術者になるための知識と技能を身につけて高専を卒業することになります。到達度を向上させるためには授業への積極的な姿勢が不可欠なので、保護者の皆様におかれましては、勉学支援への一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

保護者に参観いただいた学年



参加してよかったですか



平成30年度授業参観アンケート結果

(米子高専HP: <https://www.yonago-k.ac.jp/doc/update/3848>)

## 地域共同テクノセンターより

地域共同テクノセンター長 河野 清尊

地域共同テクノセンターは、米子高専振興協力を核にした産学官交流・連携活動を通して、地域貢献と地域の活性化及び本校の教育・研究力の向上に努めています。

振興協会の会員数は5月末時点で169となり、この2年で約20%増加しました。振興協会の更なる発展・活性化を目指して、昨年度から人材育成の新規事業「人と技術を育てる会(BeYOND)」を立ち上げました。昨年度はまず「人を育てる会(h-BeYOND)」から始め、会員企業8社から8名のOB・OGに集まっていたいで5回の懇談会を開催し、SWOT分析・クロスSWOT分析を通して経営的視点を養っていただきました。今年度は、引き続きh-BeYONDを開催するとともに、「技術を育てる会(t-BeYOND)」を立ち上げ、各社の技術イノベーションを担う人材育成に取り組むと考えています。

一方、地域との連携としては、昨年8月に大山町と包括連携協力協定を締結するとともに、後期からはロイヤルホテル大山との学生も参加した産学共同ミーティングおよびとっとり花回廊での学生によるイベントを実施してきました。今年度も引き続き地域との連携・貢献活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



ロイヤルホテル大山との  
第5回産学共同ミーティング(4/16)



とっとり花回廊でのイベント  
(3/24-25)

# “KOSEN(高専)4.0”イニシアティブによる 医工連携・リベラルアーツ教育推進のご紹介

本校では、昨年度より標記の文部科学省の競争的補助金を得て、カリキュラムの改編・充実も見据えた教育プログラムを実施しています。地域に根差した、先端的・実践的・汎用の人材の育成の取り組みをご紹介します(本校ホームページの「学校の取り組み」でも“KOSEN(高専)4.0”イニシアティブについて紹介していますのでご覧ください)。

## 第4次産業革命対応型医工連携教育 システムの構築

医学と工学を結び付けた「医工連携教育システム」の開発により、融合複合的技術者や新産業・地元産業を牽引する人材の育成を目指しています!

### 〈主な取り組み〉

#### 「医工連携・ヒューマンデザイン教育」

今年度、4年生向けに医療・介護福祉機器の開発につながる技術を学ぶ全学科共通選択科目「フロンティア工学セミナー」(学修1単位)を8月に集中講義形式で実施します。

昨年度後期には、鳥取大学医学部教員を含む外部講師による4回のトライアル講義を実演しました。



トライアル講義の様子

#### 「数理・データサイエンス教育」

既存科目「情報リテラシ」等で、昨年度後期、試行的に単元として実施しました。今年度以降、「数理・データサイエンス教育」を組み込んだ科目に変更するよう検討を進めています。

#### 「複合社会技術論」

専攻科1年生向けに、医工連携教育を組み入れた形で科目変更を行い、昨年度から開講しています。

### 〈成果・今年度の取り組み〉

#### 学生の卒業研究・特別研究における医工連携研究 テーマ数の増加

平成28年度の0件から29年度は18件(テーマ)に増加しており、今年度も継続的に取り組んでいます。

#### 医工連携関連の外部資金の増加

平成28年度の160万円から29年度は267万円に増加しています。

今年度も、医工連携研究センターを中心に、学外に向けて医工連携研究に関する情報を継続的に発信し、地域及び産業界へ取り組みの浸透を図っています。



医工連携研究センター

## 新時代のジェネリックスキル養成のための リベラルアーツ教育

協調的問題解決やセルフコントロールなどのジェネリック

スキルを身につけ、世界と関わり合い地域づくりができる技術者や地域企業の国際化に寄与できる人材の育成を目指しています!

### 〈主な取り組み〉

#### 「地域学」

昨年度は、既存の取り組みである「オープンファクトリー」を拡充して希望者に夏季休業期間中に実施しました。今年度から、2年生全員が参加する校外研修旅行(オープンファクトリー、10月)の中で実施します。

#### 「経営・国際教育」

高学年の教養教育の充実を図るため、昨年度後期は、既存の「文学」・「社会科学」の単元として実施しました。

また、昨年度、全学生を対象とした「リベラルアーツ講演会」を4回開催し、経営・国際などに関するテーマの講演を聴いて理解を深めました。今年度も継続して実施していきます。



講演会の様子

### 〈さらなる取り組み〉

#### 学生の図書貸出冊数の増加に向けて

教養の向上、図書館利用の促進のため、①各学科・科からの図書推薦、②学生からのリクエスト募集、③読書会、④ビブリオバトル、⑤全教員による「学生時代に読むとためになる本」の推薦、⑥英語科による英語書籍の多読・多聴の推進、⑦国語科・社会科による「読書カード」の導入、⑧学生寮の自学自習時間を利用した読書習慣の意識づけ、⑨新刊図書紹介方法の見直しにより、学生自身の自発的な図書館利用(平成28年度:8900冊、29年度:7700冊)及び自学自習機会の増大を図っています。

#### 「放課後TOEIC講座」受講者のスコアアップに向けて

今年度、講座の開講回数を10回から12回へ、1回60分から1回75分へと拡大しています。4年生には、全員が履修する既存科目「英語総合演習」に加え、英語教育ソフトウェアを使った特別プログラムを提供(CALL教室を開放し自由に利用)し、自学自習による英語能力のさらなる向上を促しています。



リベラルアーツ図書



講座の様子

# キャリア支援室

キャリア支援室長 森田 慎一

キャリア支援室（平成20年4月設置）は、自分が進むべき適性を判断するキャリア（職業・就業知識、実地経験）を身に付ける機会を提供し、本校学生が社会で活躍するための人生設計を支援しています。女子学生が多い米子高専では、女性のための身だしなみ講座を実施するなど、女子学生のためのキャリア支援も積極的に行っています。米子高専のキャリア支援は、地元山陰の企業（米子高専振興協力会）などと協力して行うオープンファクトリー（企業見学）のように、地元の他機関と共同教育を行っている点に特徴があります。

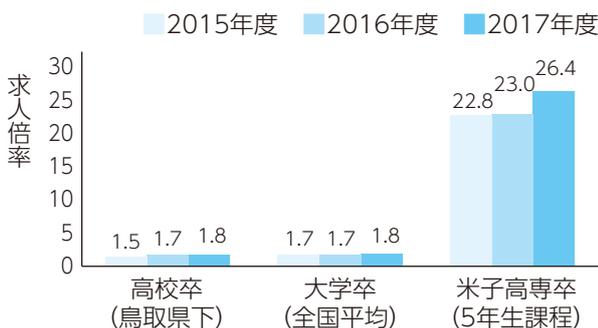
## 米子高専のキャリア支援

米子高専のキャリア支援は、1年生の高専OBによるキャリア講演会、2年生のオープンファクトリーによる地元企業見学、3年生での工場見学旅行による県外企業見学、4年生以上でのインターンシップや進路研究セミナーの開催など、学年進行に応じて自分の生き方を設計する力を身につけるための体制がとられています。

## 学年進行に応じたキャリア支援体制

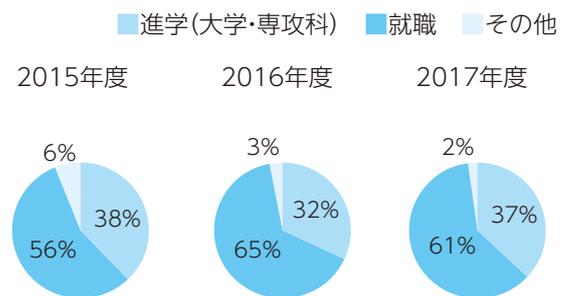
専攻科2年	進路指導	資格取得支援
専攻科1年	インターンシップ(10日間)	
	共同研究等(特別研究指導)	
本科5年	進路指導、共同研究等(卒研)キャリア講演会など	
本科4年	校外実習(インターンシップ5日間)	
	企業・大学・大学院合同面談会など	
本科3年	工場見学旅行(県外)	
本科2年	校外研修旅行(オープンファクトリー:山陰の地元企業見学)	
本科1年	高専OBによるキャリア講演会など	

## 求人倍率の推移



本科求人倍率26.4倍と好調を維持しています。

## 進学・就職の割合(5年生)



平成29年度の大学・専攻科進学率は37%でした。

## 文化セミナーのご案内

図書館

米子高専図書館では、身近な疑問から最先端技術に至るまで、様々な課題をテーマとした本校の教員による講演を年4回ずつ開催しております。どなたでも無料でお聞き頂けます。本年度のテーマは次のようになっております。

- 第1回 5月27日(日) 電子制御工学科 角田直輝先生  
「多様な光デバイス応用における非工学的観点:光物性の卑近さ」
- 第2回 6月24日(日) 電子制御工学科 中山繁生先生  
「米子高専の医工連携への取り組み」
- 第3回 10月28日(日) 教養教育科 酒井康宏先生  
「小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)と鳥取県」
- 第4回 11月18日(日) 教養教育科 原田桃子先生  
「“移民問題”を考える～イギリスの移民政策を例にして～」

時間・場所はすべて、10:00~12:00・米子市福祉保健総合センター(ふれあいの里)です。ぜひお立ち寄りください。

## 米子高専・知的セミナー

広報室

本校の教職員が日頃の教育・研究の中から、基礎的な話題を分かり易くお伝えする「知的セミナー」を中海テレビで放送しています。7月は物質工学科田中晋教員による「『液晶』とは何か」を放送します。過去の放送分は鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会のWEBサイトで視聴いただけます。

<http://www.tottorikenmin-ch.com/contents/kosen.html>

# 学生会の紹介

学生会長 5A 山崎 楓

私たち学生会執行部は現在44名が所属し、4月から学生総会などの行事の企画・運営を行い、学生の皆さんに有意義な学生生活を送ってもらえるよう活動に取り組んでいます。

今年度も文化発表会や高専祭、スポレク大会などたくさんの行事があります。中でも高専祭は、保護者の方々や地域の方々にも参加して頂き、学校全体が一番盛り上がる行事です。前夜祭を含めた3日間で「今年の高専祭が1番楽しい!」と思って頂けるように、学生会一同、全力で企画しています。

米子高専が、「素晴らしい学校!」と思って頂けるように取り組み、また、その魅力を学生会から発信していけるよう努力していきますので、応援・ご協力をお願いします。



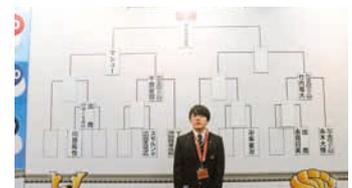
## 文化発表会のご案内

6月29日(金)・30日(土)に米子高専にて、毎年恒例の文化発表会が開催されます。文化系部活動による日頃の活動成果が展示、披露されます。茶華道部によるお点前の披露、放送部の最新作上映などがありますので是非お立ち寄りください。

## 【コンピュータ同好会】AI同士のぶつかり合い スモウルビー甲子園に参加して

コンピュータ同好会 4D 寺西 勇裕

3月24日にスモウルビー・プログラミング甲子園決勝大会が開催されました。ゲームを攻略するAIプログラムを鳥根県発祥のRuby言語を使用して開発し、1対1で戦わせる大会です。相手のAIプログラムより高得点を獲得することで勝敗が決定します。全国の参加者から上位12名が予選を突破し決勝大会に招待されました。私は、これまでに参加した様々なプログラミングコンテストの経験や、高度なアルゴリズムを生かしてAIプログラムを開発しました。決勝大会では負けそうになる場面もありましたが、高校生年代として参加できる最後の大会で優勝することができてよかったです。



優勝の記念撮影

## 【バドミントン部】中国四国高専大会団体優勝

バドミントン部 3D 細田 一成

3月28日、29日の2日間、香川県で中四国バドミントン高専大会が行われました。私たちバドミントン部は、団体戦に優勝することが出来ました。そのほか個人戦でも、ダブルス、シングルス1部・2部ともに好成績を残すことが出来ました。これは日ごろの練習でアドバイスを出し合い、辛い時も支え合い、どんな壁も部員全員で乗り越えてきたからだと思います。7月に行われる中国地区高専大会までにさらにレベルアップをし、全国につながる結果を出していきたいと思います。



表彰式後の記念撮影

## 【卓球部】中四国高専卓球大会団体3位

卓球部指導教員 電子制御工学科 河野 清尊

平成29年度の中四国高専卓球大会が3月20日(火)・21日(水)に南国市立スポーツセンターで開催されました。中国地区から6校、四国地区から6校及び豊田高専が参加し、団体戦は51チームで、個人戦は男子170名、女子47名で頂点を目指す戦いが繰り広げられました。

団体戦は2単1複形式で行われ、米子高専Aチーム(3D高野、2E柳原、2E小西、2D森)は1次リーグ、2次リーグを勝ち抜き、決勝リーグで広島A、宇部B、宇部Cと対戦して1勝2敗で3位となりました。米子からは卒業を控えた5年生6名を含む21名が参加し、高専生活最後の大会として、また夏の高専大会の前哨戦として有意義な遠征となりました。



## 【放送部】理事長特別表彰を受賞

放送部部長 4A 河本 幸樹

私たち放送部は、平成29年度の高専機構「理事長特別表彰」を受賞しました。全国の高専生の中から顕著な功績のある数件の個人・団体だけが選ばれるもので、我々放送部が受賞するのは初めての事です。NHK杯全国高校放送コンテスト3位や高校生のためのeiga worldcup 2年連続最優秀作品賞、フランス高校映画祭での招待上映といった実績を評価していただきました。活動の苦勞が報われ、非常にうれしく思っています。今後もより一層、活動に気合を入れて頑張っていきたいです。



eiga worldcup最優秀作品の撮影風景

## 第7回サイエンス・インカレで本校学生が複数入賞

電気情報工学科 田中 博美

3月3、4日に立教大学で行われた大会で、本校学生らの3チームが入賞を果たしました。このイベントは文部科学省が主催する大学学部生年代の学生による研究成果報告会で、高専生でも研究期間によるハンデがなく研究成果で競争できる貴重な発表会です。今年度は、E科とC科から7チームが論文審査を通過して、本選に出場しました。審査の結果、5E青戸淳之介君、5E(受賞時)中村将大君らがグランドアワード3賞の一つであるサイエンス・インカレ奨励表彰、S1村上諒君、仲村和貴君、5E陰山弘典君らが審査員特別賞、S2田中橘平君、5E(受賞時)佐伯夏海さんらがエア・リキード賞に入りました。本校学生の入賞は3件で筑波大、横浜国立大に並び最多であり学生らは自信を深めたようです。



サイエンス・インカレの会場  
(立教大学)にて

## 電気学会高校生懸賞論文コンテストで最優秀論文賞を受賞

4E 田中 祥太

この度は、このような名誉ある賞を頂けたこと大変嬉しく感じています。この論文コンテストではBi系高温超電導体の研究を行ってきました。長期休暇のほとんどを研究に費やしましたが、思うような結果が得られず、苦しい思いをすることもありました。しかし最優秀論文賞に選ばれたことで、あきらめないで良かったと改めて思いました。この経験を活かし、今後の研究でも何事もあきらめないでやり遂げることができるよう努力していきたいと思っています。

今回のコンテスト参加に際し、指導教員の田中博美先生や研究室の先輩方などをはじめ多くの方々にお世話になりました。この場をお借りして深くお礼申し上げます。



授賞式の様子(左から3人目が田中祥太)

## 中国四国地区生物系三学会合同大会で最優秀賞を受賞

3C 田中 泰斗

私は、5月12、13日に山口大学で行われた中国四国地区生物系三学会合同大会に参加しました。今回の学会でも、他校の発表は非常に面白いテーマばかりで、自分にはない発想やアイデアなどがあり、とても刺激を受けました。私自身も学会での経験を重ねるごとに、発表を楽しむ感覚や相手に理解してもらえ喜びを感じるようになり、今回の学会でも発表を楽しむことを意識して臨みました。結果は、44件ある発表テーマの中で最優秀賞を受賞することができました。今後も、学会での発表や研究において楽しむことを忘れずに、真摯に取り組みたいです。



中国四国地区生物系三学会  
合同大会の会場にて

## M科学生による日本機械学会BP賞ダブル受賞

生産システム工学専攻2年 山本 歩夢

日本機械学会中四国学生会第48回学生会卒業研究発表講演会(3月6日徳島大学)にて、特別研究Iで得られた成果を発表し、本科5年の井上大樹君と共に優秀発表賞(BP賞)を獲得しました。私は、本科5年在籍時からM科大塚茂教授による「企業におけるプレゼンテーション講座」を受講し、その中でスライド作成から口頭発表の仕方まできめ細やかな指導を受けてきました。講演会当日は、これまでに修得した発表技術を活かし、研究成果について適切に説明できたことが受賞に繋がったと思います。また、井上君も本講座を受講しており、今後はこの経験・技術を引き継いでいくため、協力して後輩の指導に励んでいきます。

最後に、特別研究・プレゼン指導をくださった矢壁正樹教授、大塚茂教授、共に研究を進めてくださった澤田龍一先輩にこの場をお借りして、深く感謝申し上げます。



BP賞を受賞した山本歩夢君と指導教員

## 大塚茂研究室で日本機械学会BP賞を2年連続の受賞

生産システム工学専攻1年 井上 大樹

私は、日本機械学会中国四国学生会第48回学生会卒業研究発表講演会において、「多孔質動圧ジャーナル軸受における正弦波加振時の潤滑特性に関する研究」というテーマで発表を行い、昨年度の同研究室の先輩である妹尾真希さんに引き続き2年連続で優秀発表賞を受賞することができました。会場には大学生が多く、初めての学会ということもあり、とても緊張しましたが、1年間を通して行った研究成果を落ち着いて発表することに専念しました。この学会発表やこれまでの発表練習を振り返ると、大学とは異なる少人数教育である高専の強みを実感しました。

現在私は、専攻科へ進学し同テーマの研究により深く取り組むことで、理解を深め、来年の学会発表においても優秀発表賞の受賞を目指しています。

最後に、このような受賞の栄誉を得られたことも、懇切丁寧にご指導いただいた指導教員の先生、発表練習を見て下さった先輩方、ならびに共に研究を行ったパートナーに深く感謝し、御礼申し上げます。



## 日本建築学会中国支部研究発表会で得たこと

今回の研究発表会は、私にとって初めての学外での研究発表の場でした。研究発表会に参加したことで、他高専生や大学生・大学院生の発表を聞き自らの知識不足や理解力の低さを痛感しました。今年度はこの経験を生かして、より知識を深め特別研究に取り組んでいこうと思います。この度はこのような賞を頂けることは想像していませんでした。日頃ご指導して頂いている玉井先生、協力してくれる玉井研究室の学生に感謝しています。

建築学専攻2年 足立 香織



研究発表時の様子

## 日本化学会化学教育有功賞を受賞

学生の皆さんが、各種コンテストで活躍すると賞が授与されるように、高専教員も教育研究活動を行う中で評価が行われ、表彰が行われます。今回は近年の化学関連の低学年教育について、特に研究発表における独自の教育手法の実践が評価され、賞を頂くことができました。

化学という学問分野は教師・教え子の身分関係や国境に関係無しに世界中で同じ内容が学ばれており、その成果物は世界中と繋がって議論が可能となる楽しさが魅力です。今後も鳥取県から世界で通用する学生を育成するために、化学を用いた教育指導の工夫をしていくつもりです。

物質工学科 谷藤 尚貴



授賞式の様子

## 高専機構教員顕彰 分野別優秀賞受賞



全国の高専教員を対象とした平成29年度国立高等専門学校機構教員顕彰において、一般部門 分野別優秀賞(教育活動分野)を受賞しました。受賞対象となった取り組みは「放送部におけるアクティブラーニングと地域連携」です。顧問を務める放送部において学生が主体的に番組づくりをするための方法を模索するとともに、地域と協力して番組制作をすることで学生が地元を目標とする機会を設けてきました。学生の活躍はもちろん、教職員、保護者の方々のご協力の下、得られた成果です。ありがとうございます。これを糧に今後とも頑張っていきたいと思えます。

物質工学科 田中 晋

## 「メカ女ミーティング」を開催しました

男女共同参画推進室長 森田 慎一

米子高専は、創造性に富む実践的技術者を育成することを通して、技術科学分野への男女共同参画を推進するため、男女共同参画推進室を設置(平成29年11月)しました。本校の女子学生在籍率は、全国高専の中でも高い25.4%(全学生数1,012名:H29年度)であり、本校で学ぶ女子学生はさらに増えていくと予想されます。

平成30年4月24日(火)に女子学生が充実した学生生活を送る環境づくりを目的として、学年の壁を越えて女子学生同士が交流して人脈を広げる会を催しました。今回は、機械工学(メカニカルエンジニアリング)を専攻する1年生から専攻科2年生までの女子学生(メカ女)が対象の「メカ女ミーティング」です。機械工学科(専攻科含)の女子学生数は、年々増え、今年度は過去最多の16人となりました。メカ女ミーティングは、専攻科2年の妹尾真希さんによる講演「Welcome to Mechanical Engineer course!」につづき、先輩学生が選んだお菓子を分け合いながらの座談会を行い、有意義な時間を過ごしました。

出席した「メカ女」からは、「先輩の高専生活での経験談が聞いて良かった、私もこれからの高専生活を楽しみたい。」「本格的に将来のことを考えて行動しなければならない学年になったので、とても参考になった。」などの感想があり好評でした。



メカ女講演会



メカ女座談会



2002年度卒  
嘉藤 明弘  
(平井建設)



1997年度卒  
門脇 理奈  
(安来市役所)



2008年度卒  
岩田 新平  
(安来市役所)

## 卒業生でつくった地元大型プロジェクト 「安来市総合文化ホール アルテピア」

米子市の隣、島根県安来市に2017年8月に竣工した「安来市総合文化ホールアルテピア」は、設計から建設までの過程で多くの卒業生が関わってできあがりました。今回はこのプロジェクトに関わった卒業生にインタビューしましたので、地元大型プロジェクトにどのように関わってこられたのかまとめて紹介します。

1966年に建設された旧安来市民会館は、耐震性、アスベストの安全性、バリアフリーなど設備の整備不足が問題となっていました。そこで、2013年6月に新市民会館に関する基本構想が策定され、同年7月からの設計を経て、2015年8月に着工されました。着工に至るまでには、市民団体等の代表者からなる建設検討委員会、市民によるワークショップの開催などにより、市民の意見を取り入れた度重なる検討が行われたこともこのプロジェクトの特徴です。このプロジェクトには、表に示すように、発注者として安来市、設計者として田中正夫建築設計事務所、ケーアイ建築設計、ティービーエム、施工者として鴻池組、平井建設と、会社も卒業年度は違えど、多くの卒業生達が関わってこられました。

地元での大型工事に関わった感想などを、発注者からA科24期の門脇理奈さんとA科35期の岩田新平さんに、施工者からA科29期の嘉藤明弘さんに建築学科教員の玉井孝幸が聞きました。



左:嘉藤、その右:岩田、右から2人目:門脇

**玉井(以下、玉):**地元での大型プロジェクトでしたが、ここまで卒業生が集まると思っていましたか。

**門脇(以下、門):**まったく。逆に大型物件でしたので大手の企業の協力が必要だと思っていました。しかし、入札の条件に地元の企業とのJV(合弁事業)としていたので地元企業も必然的に入るとは考えていました。

**玉:**結果的に卒業生がいたということですか。

**門:**始まってからですね。それも協力会社などから『あの人も高専卒業生だよ』って教えてもらってから分かるという感じでした。また、一昨年高専の3年生に向けて話をした(特別行事の卒業生講演会)ときに資料を作成する際にまとめてみると、こんなに多いんだという事がわかりました。

**玉:**資料には当時の成績もありますか。

**門:**自己申告です(笑)。

**玉:**岩田さんもですか。

**岩田(以下、岩):**そうです。施工会社の池上さんに『何期?』と聞かれて、何年卒ですとしか答えられず、計算して自分が建築35期だとわかりました。

**玉:**そうですね。一桁代の卒業生と話をすると、必ず何期という言い方、聞き方をしますね。実際卒業生が多くいましたが、何か変わることがありました。

**門・岩:**卒業生が多いからと行って、仕事の基準やルールがわかるものではありません。

**門:**休憩中や現場での仕事が終わったときなどは、話しやすい雰囲気はありますね。

**玉:**どんな話をするんですか。

**岩:**あの先生はまだいるのかとか、何研かなどですね。

**門:**自分が働いている業界について語ると、皆、今の業界が良いと言ったり、率直な気持ちが言い合える雰囲気がありました。

**玉:**先生、研究室はあるあるですね。研究室が同じだと、研究テーマなども似ていたりとか合うのかもしれませんが。施工では、池上さんが全国型の企業に所属していて、JVで嘉藤さんが地元企業として一緒に関わったのですが、地元で働いていることについて何か感じることはありますか。

**嘉藤(以下、嘉):**地元密着なので、身近な建築物に関わる機会が多く、地元貢献度は大きいと感じます。今回、池上さんと仕事をして、卒業生のネットワークについても感じる事ができ、池上さんのおかげで、他の先輩方との交流もできました。

**玉:**安来市の会社なので市役所の門脇さんなどとは、以前から交流があったと思いますが。

**嘉:**そうです。知ってはいましたが、今回のように、発注者、設計者、施工者と揃うことはまれです。しかし、そうはいつでも仕事は厳しいです。

**玉:**皆さん、貴重な時間ありがとうございました。

以上、地元で活躍している卒業生のネットワークについて報告しました。在校生の皆さんも地元で活躍できる機会が多くあります。将来の進路を考えるときに地元への貢献なども考えてみてください。

表 関係者一覧 ( )内の数字は卒業年度

発注者：安来市役所

門脇 理奈:A科24期(1997)  
岩田 新平:A科35期(2008)  
関本 良:A科27期(2000)  
小笹奈津子:A科28期(2001)

設計者・管理者

田中 正夫:A科非常勤講師 田中正夫建築設計事務所  
石原 啓之:A科27期(2000) ケーアイ建築設計  
赤井 優:C科 1期(1969) ティービーエム  
松本幸太郎:A科39期(2012) ティービーエム

施工者

池上信太郎:A科16期(1989) 鴻池組  
嘉藤 明弘:A科29期(2002) 平井建設  
前田 繁昌:A科 6期(1979) 平井建設



完成した安来市総合文化ホール アルテピア



高専生の工事見学

※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、G…教養教育科、S…専攻科  
例えば、「1M」は機械工学科1年生を表しています。

発行：米子高専広報室

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009

ホームページ：http://www.yonago-k.ac.jp/ 印刷：株式会社高下印刷